

2014年10月31日

西日本高速道路株式会社

代表取締役社長 石塚由成 様

とくしま自然観察の会

世話人 井口利枝子

### 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する要望書

四国横断道渡河部（以下「渡河部」）の建設が予定されている吉野川河口には、国際的に評価が高い河口干潟があります。この河口域は、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップによる「シギ・チドリ類フライウェイ生息地ネットワーク」へのわが国初の参加地であり、環境省ラムサール条約湿地潜在候補地に選定されるなど国際的にも高い評価を得ているものです。このようなことから、渡河部の建設は、吉野川河口の貴重な干潟生態系および渡り鳥に甚大な被害を与えるのではないかと私たちは、大いに懸念しています。

このような懸念に加えて、渡河部の建設予定地点より、わずか1.7kmの間隔で建設された阿波しらさぎ大橋と渡河部との複合的な河口環境への影響については、本事業の必要性や干潟への影響なども含めて、これまで本会をはじめ、全国的な環境保全団体から大規模な人工構築物の建設によって、渡り鳥への悪影響が懸念されることや複合的影響評価の実施等についての要望がなされてきたことは、すでにご存じの通りです。

今回、貴社が吉野川高速道路橋モニタリング調査の先行事例とされてきた、徳島県による阿波しらさぎ大橋のモニタリング調査データを解析・再評価しました。その結果、阿波しらさぎ大橋の建設が、シギ・チドリ類の生息場所選択に比較的大きな影響を与えていることが強く示唆されました。

このことから、本会では、再評価の結果を踏まえ「阿波しらさぎ大橋建設に伴うシギ・チドリ類の生息場所選択への影響評価に関する考察」と題するレポートを作成しましたので提出いたします。

本レポートの提出にあたり、下記のことを要望いたします。

## 記

1. 高速道路渡河橋および周辺の大規模人工構造物との複合的な影響評価を実施してください。

本会が提出したレポートにも示されているように、阿波しらさぎ大橋に加えて四国横断自動車道渡河橋の建設が吉野川河口への渡り鳥の渡来数を減少させ、また生息場所選択にも比較的大きな影響を与えることが十分懸念されます。さらに、河口部に近接して2本の橋が架橋されることは、1本の橋に関する調査からは予測しえない影響もあると考えられることから、両者による渡り鳥への複合的な影響も考えられるため、四国横断自動車道単独の影響評価に留まらず、周囲の阿波しらさぎ大橋、マリンピア人工海浜等、人工構造物との関連性、複合的な影響評価を行うことを要望します。

2. 本会が提出した阿波しらさぎ大橋橋建設に伴う、シギ・チドリへ類への影響の解析について、貴社および検討会専門家の見解について具体的に文書にて回答をください。

3. これまで、貴社は、「阿波しらさぎ大橋の影響評価は、NEXCOの橋事業とは関係ない」また、検討会委員は、「阿波しらさぎ大橋建設の影響は軽微である」という見解を、それぞれ示し、公表してきました。私どもにとって、これらの見解は、到底納得できるものではないことから、市民資料を検討する会では、環境省シギ・チドリ類モニタリングサイト1000に関する委員や専門家、その他関係のNGOに所属する専門家の参加を得て、この件につき幅広く意見交換をおこなうことを要望します。

以上

**上記の要望に対するご回答を2014年11月25日までに文書にてお示しください。**

### 【連絡先】

〒770-0944

徳島市南昭和町3丁目19-1 とくしま自然観察の会 井口利枝子

Tel・Fax 088-623-6783

Eメール madoguchi@shiomaneki.net

携帯電話 090-5146-1620 (井口)